

株式会社 松屋 4月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-7.0	銀座店は、婦人衣料部門のキャリア層にてパンツ等のボトムスが好調に売上高を伸ばしましたが、他のアイテムが伸び悩み、婦人・紳士衣料の動きは全体的に鈍い結果となりました。免税売上高につきましては、化粧品などの消耗品が引き続き好調に推移していますが、前年の大きなインバウンド売上高と対比いたしますと、一般品を含めやや落ち着いた動向となりました。また、先月同様、食品売場の改装や一部店内の施設の更新等による工事影響、加えて前年開催いたしました文化催事「誕生60周年記念 ミッフィー展」における売上高・入店客数の影響が大きく、店全体での売上高は前年を割りました。浅草店は、惣菜・婦人雑貨が好調でしたが、主力の生鮮三品・婦人服・化粧品が前年に届かず、店全体では前年割れという結果に終わりました。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

(ご参考)

銀座店	-7.0	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-7.2	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。